

## 小規模多機能型居宅介護事業所より 地域で必要とされる 「はびねすマキノ」であるために

小規模多機能型居宅介護事業所「はびねすマキノ」は開所して10年が過ぎようとしています。この間、ご利用者様やそのご家族様、関係各所の方々に温かいご支援をいただきました。この紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。

さて、小規模多機能型居宅介護事業所は、住み慣れた家・地域での暮らしを継続するために、一つの事業所で「通い」「泊り」「訪問」の3つのサービスを組み合わせ提供します。そうすることにより、個々のニーズに応じた在宅生活を支え、ご利用者様の自立支援を目指します。「在宅介護はもう限界かも…」とお考えの方でも、例えば「仕事中は預かってもらえる」「定期的に泊りを利用して介護者の休息や自由な時間が持てる」「家で一人で留守番しているのが心配な時にヘルパーが訪問し、安否確認や食事や排泄の介助が受けられる」など、介護者様にとつてのメリットが大きいサービスといえます。

また、今は何とか在宅で介護しているが、いずれは施設入所を検討している方にとつても、少しずつサービスの利用時間を増やしたり、自宅以外の場所へ泊まることに慣れることができるようになります。

病状の変化や入院、家族の状況の変化などを機会に、介護の状況が変化し、ご本人もご家族もどうしたらよいのかと不安になることがあります。様子が大きく変化し先行きが不安な時に、小規模多機能のサービスを選択肢の一つに入れて考えてみてください。

ここで、はびねすマキノを利用され

た方の様子を少しご紹介させていただきます。(ご家族様の了解を得ています)

80代女性、長男夫婦と同居されています。長男夫婦は就労しながら介護されています。母親の認知症が少しずつ進行し、デイサービスの利用日を増やし、ショートステイの利用を開始するし、ショートステイの利用を開始する相談をされていた矢先に、腰痛で動けなくなりしました。腰椎圧迫骨折の診断を受け、入院。入院中、ご本人は状況が理解できず、病室から出てきては、「ここはどこや?」と職員に尋ね、説明を受けて病室に戻るといふ行動を繰り返しながら、何とか入院生活を継続されていきました。ご家族は面会に来ても、どこに居るのか分かっていないおばあちゃんを見て、帰宅したらどうなっていくのか不安を募らせておられました。また、今までずっとおばあちゃんの家にいる生活が、入院して家にいない生活を経験して、介護がない暮らしがこんな精神的に楽なんだと実感してから、もう一度在宅介護の生活に戻る自信が持てないとも話しておられました。病院の相談員からの勧めもあり、まずグループホームの入所の申し込みをし、入所できるまでの期間、はびねすマキノを利用することになりました。退院後は、ほぼ毎日の「通い」と週末の「泊り」を利用していくことで、何とか頑張つていこうとご家族は覚悟を決められました。そんな矢先にグループホームの空きが出たので、自宅に帰らなくてもそのまま入所できるとの知らせが入りました。ご家族から「入所してほしいと思って申し込みんだけど、あまりに急なので心の準備ができない。

このままおばあちゃんと離れて暮らすのはさみじすぎるので、しばらくはびねすのお世話になりたい」との返事がありました。退院され、そのままはびねすに3日ほど「泊り」を利用されました。以前、通っていたデイサービスとは雰囲気の違いはありましたが、知り合いの利用者様もおられ、穏やかに過ごせました。入院後の泊り利用だったこともあり、「今日はここで泊まってください」と説明すると、素直に受け入れることができました。少しずつ体調も戻り、一人で留守番もできるようになり、週末の泊りを利用しながら、お嫁さんのお休みには一緒に自宅で過ごし、2人で散歩に出かけたりもされているようです。気分的な余裕ができて、ご家族も本人にやさしく接することができるようになったと言われています。退院してそのまま施設に入っていたら、「もう少し一緒に居られたんじゃないか」と後悔していたと思うと話されています。大切な人と一日でも長く住み慣れた自宅で暮らしていけるお手伝いをさせて頂けたら、私たち職員も幸せです。

いま、毎日の介護に疲れやお悩みはありませんか?はびねすマキノでは、随時介護相談に応じています。受診にお越しの待ち時間でも気軽ににお立ち寄りください。もちろん電話でも構いません。事業所見学もいつでも可能です。

さて、この10年間に介護の情勢は少しずつ変化をしています。ご存知の通り、介護人材の不足は全国的に深刻なものとなりつつあります。当事業所は、おかげさまで開所からのスタッフが4割在籍しています。介護の仕事はそれぞれ利用者様の

尊い人生に寄り添うことができる大変魅力のある仕事です。人生経験や生きざまから学ぶことが沢山あり、いろいろな人生を知り人間として成長することができます。この魅力ある仕事を一緒にして下さる職員を随時募集しています。

この春からは、本来の介護の業務だけでなく、認知症カフェを開催しております。カフェを通して、交流の場、居場所作りなど、広く地域の福祉に貢献していきたいと考えております。毎月第3木曜日午前中、はびねすマキノの会議室で開催しております。「はびねすカフェ」のぼり旗を見たら、開催中ですのでお気軽にお越しください。

今後とも地域の皆様から「ここにあってよかった」と思っていただけける事業所を目指します。地域とともに歩む「はびねすマキノ」をどうぞよろしく願います。

はびねすマキノ所長

田中 千香代

### 新人紹介

この度、マキノ病院に入職いたしました新しいスタッフです。皆様方の温かい御支援よろしく願います。



はびねすマキノ  
ケアワーカー  
東 内 薫

### 小児予防接種の予定(10月・11月)

	混合ワクチン・麻疹風疹混合・BCG・日本脳炎・ポリオヒブ・肺炎球菌・子宮頸がん・水痘・おたふくかぜ・ロタ				
	受付・接種時間: 13時~ 16時~16時30分				
10月	1日(火) 25日(金)	4日(金)	11日(金)	15日(火)	18日(金)
11月	1日(金) 29日(金)	8日(金)	12日(火)	15日(金)	22日(金)

御予約は接種日の前々日まで受け付けています。  
予約電話番号: (0740) 27-0101  
電話受付時間: 毎週月曜~金曜日の正午から17時まで

### テーマ 『糖尿病』 健康教室のご案内

#### 開催についてのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月・11月の開催は中止といたします。

~当院では生活習慣病などを学びたい方のために『健康教室』を開催しています。~

場所: 2階図書室

どなたでも自由にご参加できます。(入場無料)

※ 12月以降の開催は未定